

定植時期がイチゴ‘さがほのか’の収量に及ぼす影響

○武田恵理子・野崎克弘・黒木利美・渡司照久（宮崎総農試）

Effect of planting time on yield of strawberry ‘Sagahonoka’

TAKEDA, E., K. NOZAKI., T. KUROGI and T. WATASHI

〔目的〕これまで県内に導入されていたイチゴ品種と比較して、2005年度から導入された‘さがほのか’は花房の連続性がある。しかし頂花房の果数が少ないことや第1腋花房の果実肥大期が寡日照低温条件であることから、頂花房収穫終期から第1腋花房の収穫開始時に収穫の谷が生じてしまう。そこで収穫の谷を小さくし、より連続して収穫するのに最適な‘さがほのか’の定植時期の検討を行う。

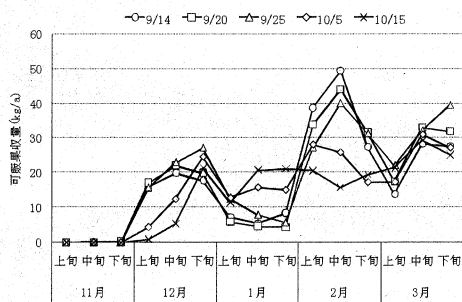
〔材料および方法〕定植日は2007年9月14日、9月20日、9月25日、10月5日、10月15日とし、1区20株の3区制とした。育苗は露地の高設ベンチで、6月25日から7月19日までの間に杉パーク培地の9cmポリポットに鉢受けした。8月9日に第1ランナーの切り離しを行い、8月17日に全ての株の切り離しを終了した。栽培方式は不織布栽培槽に杉パークを培地とした宮崎農試方式高設栽培を用いた。栽植密度は、畦幅135cm、株間20cm、条間25cmの2条植とし、株当たりの培土量を約3L、栽植密度をa当たり714株とした。基肥は株当たりN0.5g、P0.42g、K0.5gを定植時に施用した。追肥はOK-F-1を用い、10月15日から3000倍液、11月1日から2000倍液、12月1日から3000倍液、2月1日から2000倍を給液の度に施用した。給液量は10月7日から1株1日当たり250cc、10月13日から200cc、12月20日から150cc、2月13日から200cc、3月1日から栽培終了まで250ccで管理した。電照は日長延長方式で11月12日から3月3日まで日没30分後から2時間30分～3時間おこなった。温度管理は午前24℃、午後22℃、夜温最低8℃を目標に管理した。収穫開始は11月16日、終了は3月末であった。

〔結果および考察〕頂花房の収穫開始は定植時期が遅いほど遅れる傾向にあり、収穫ピークは9月14日と9月20日は12月中旬、9月25日以降は12月下旬であった(第1図)。10月5日、10月15日は収穫の山谷がなだらかで、栽培終了時まで途切れることなく収穫する事ができたが、他の区と比べ3月までの総果数が少なく総収量も低かった(第1表、第2図)。9月14日から9月25日までは定植が遅い程、果数、収量、可販果率が増加する傾向があり、総収量は9月25日が最も高かった(第1表、第2図)。可販果一果重は9月25日が15.2gと最も高かった(第1表)。10月5日と10月15日は、収穫期間を通して平均果重の推移が一定であり、大玉となりやすい第1腋花房の上位花において他の区と比べ、小ぶりであった(データ省略)。可販果率は9月25日が最も高く、10月15日が最も低かった(表1)。頂花房の花数は10月15日で少なかった(データ省略)。定植から頂花房出蕾までの葉数は定植が遅い区ほど少なくなり、10月15日で2.5枚と最も少なかった。さらに頂花房と第1腋花房の花房間葉数についても同様の傾向が見られ、10月15日で定植から第1腋花房までの総展開葉数が4.6枚であった(データ省略)。

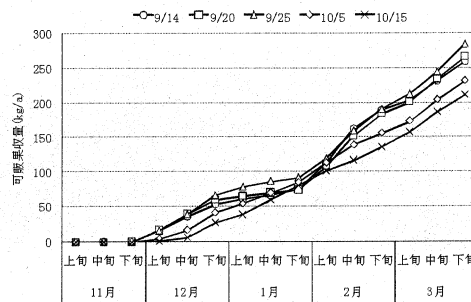
以上のことから、9月14日、9月20日に定植を行うと頂花房の収穫開始は早まるが、1月に収穫の谷が生じてしまう。10月5日、10月15日に定植すると、頂花房以降の花房が連続して出蕾するが、総収量が低くなる。9月25日に定植すると収穫開始が遅れ、1月に収穫の谷が生じてしまうものの、年内収量、総収量、可販果率ともに高くなる。

第1表 定植時期の違いが収量に及ぼす影響(11月～3月)

| 定植日 | 可販果(A+B品)収量 | | | | C品収量 | | 総収量 | |
|--------|-------------|--------------|--------------|---------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| | 果数 (個/a) | 重量 (kg/a) | 一果重 (g/a) | 可販果率 (重量%) | 果数 (個/a) | 重量 (kg/a) | 果数 (個/a) | 重量 (kg/a) |
| 9月14日 | 17636 | 259 | 14.7 | 88 | 4808 | 36 | 22443 | 295 |
| 9月20日 | 18136 | 266 | 14.7 | 90 | 3641 | 29 | 21777 | 295 |
| 9月25日 | 18701 | 284 | 15.2 | 91 | 3584 | 30 | 22286 | 313 |
| 10月5日 | 15449 | 231 | 15.0 | 86 | 4017 | 38 | 19467 | 270 |
| 10月15日 | 14054 | 211 | 15.0 | 84 | 4415 | 40 | 18469 | 251 |



第1図 定植時期の違いが旬別可販果収量に及ぼす影響



第2図 定植時期の違いが積算可販果収量に及ぼす影響